





Newspaper in Education

# 静岡新聞で学ぼう

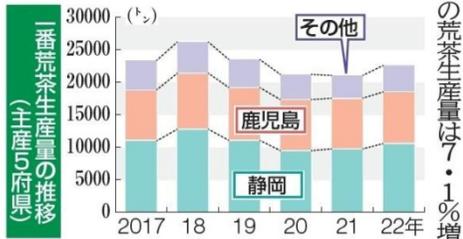
解答例



2022年 8月17日朝刊

記事を読んで、問いに答えましょう。

## 県内一茶生産 1万ト超



農林水産省は16日、2022年の一番茶生産量統計を発表した。本県の荒茶（製品加工前の茶）生産量は前年比8・4%増の1万5000トで、3年ぶりに1万トの万台を超えた。ただ、茶価低迷や肥料、重油などの高騰で茶農家の負担は増加し、厳しい経営環境が続いている。

### 3年ぶり、前年比8%増

主要産地5府県（静岡、鹿児島、三重、京都、埼玉）の荒茶生産量は7・1%増の2万2600トだった。本県のシェアは0・6%上昇の46・4%で全国1位を保持了。2位鹿児島は生産量は2・3%増の8140ト、シェアは1・6%低下の36・0%で、本県との差は広がった。

農水省は全国的に3〜5月の収穫期間の気候が安定し、目立った凍害もなかったことで生産量が伸びたとしている。本県も茶畑10町当たりの生葉収量が14・6%増の423トと伸びた。一方、降雨による摘み

### 気候恵まれ…経営なお厳しく

遅れに起因した品質低下もみられたという。

J A静岡経済連の推計では、県内産一番茶の平均単価（荒茶ベース）は前年比8・0%下降の1920円。製茶に使う燃油代などの営業コストが上昇し、県内各地の製茶工場間では収益の差が目立った。二番茶も安値相場を引き継ぐ格好となったため、生産意欲が高まらず、収穫量は前年より少なかったとみられる。

県お茶振興課の増田浩章課長は「収益を安定化させるには、販売先をあらかじめ確保しておく必要がある。売り先のニーズに合わせた生産構造の転換や、販路開拓を支援していく」と話す。

（経済部・平野慧）

①「荒茶」とは、どんな茶をいいますか。  
（製品加工前の茶）

②茶の主要産地になっている上位5府県をすべて書きましょう。  
（静岡県、鹿児島県、三重県、京都府、埼玉県）

③2022年の一番茶生産で、静岡県の荒茶生産量は全国第何位ですか。  
第（1）位

④静岡県の茶農家の経営状況と今後の課題について、80字以内にまとめて書きましょう（句読点を含みます）。

(例)

茶	価	低	迷	や	肥	料	・	重	油
の	高	騰	で	厳	し	い	経	営	状
況	が	続	い	て	お	り	、	収	益
安	定	に	向	け	た	販	売	先	の
確	保	や	ニ	ズ	に	合	わ	せ	
た	生	産	構	造	へ	の	転	換	、
販	路	開	拓	な	ど	に	努	力	し
て	い	く	必	要	が	あ	る	。	

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

（小学校高学年～中学校、高校／社会、総合）

年 組 名前